

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月8日

上場会社名 **株式会社 ゼンショーホールディングス** 上場取引所 東
 コード番号 7550 URL <http://www.zensho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼CEO (氏名) 小川 賢太郎
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経理本部長 (氏名) 福元 哲朗 (TEL) 03 (6833) 1600
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	109,302	10.6	1,619	△23.1	1,720	△4.6	66	△81.2
25年3月期第1四半期	98,856	4.2	2,106	△56.8	1,803	△58.7	355	△49.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 565百万円 (586.9%) 25年3月期第1四半期 82百万円 (△91.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第1四半期	0	55	—	—
25年3月期第1四半期	2	93	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
26年3月期第1四半期	255,508	54,565	16.4	346	39			
25年3月期	258,509	55,218	16.5	351	83			

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 41,939百万円 25年3月期 42,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8 00	—	8 00	16 00
26年3月期(予想)	—	8 00	—	8 00	16 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	236,030	14.8	9,968	11.8	9,072	11.4	3,194	0.6	26	38
通期	473,927	13.5	18,863	28.0	17,232	24.2	6,259	23.8	51	70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	121,100,000株	25年3月期	121,100,000株
26年3月期1Q	23,609株	25年3月期	23,497株
26年3月期1Q	121,076,445株	25年3月期1Q	121,076,640株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（2013年4月1日から2013年6月30日まで）におけるわが国経済は、新政権による経済政策・金融政策への期待感から景気回復の動きが見られたものの、急激な円安や新興国の経済成長の鈍化等により、先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、消費マインドに回復の兆しが見られますが、食材価格の高値圏での推移や電気料金の上昇などにより引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、コア事業であります牛丼カテゴリーの「すき家」は、既存店売上高を中長期的に高い水準（当第1四半期累計期間の既存店売上高は2003年比で113.6%、2009年比で107.9%）を維持しておりますが、既存店売上高前年比は93.6%となりました。加えて、米・肉価格をはじめとする食材価格の高値圏での推移やエネルギーコストの上昇により、前年対比減益となっております。また、レストランカテゴリーの「ココス」・「ビッグボーイ」・「ジョリーパスタ」ならびに、出店を進めているファストフードカテゴリーの「はま寿司」の既存店売上高は、概ね堅調に推移しております。

当第1四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、58店舗出店、9店舗退店等により、4,697店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,093億2百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益16億19百万円（同23.1%減）、経常利益17億20百万円（同4.6%減）、四半期純利益66百万円（同81.2%減）となりました。

当社はフード事業の単一セグメントであります。その内訳は、外食と小売の2事業から成ります。

①外食事業

外食事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は1,023億99百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は20億25百万円（同2.9%減）となりました。

外食事業における主要カテゴリーの状況は以下の通りです。

(牛丼カテゴリー)

牛丼カテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、38店舗出店、4店舗退店した結果、2,499店舗となりました。内訳は、「すき家」1,943店舗、「なか卯」482店舗（FC24店舗を含む）等であります。

株式会社ゼンショーが経営する牛丼チェーンの「すき家」では、新規出店および広告宣伝等によるブランド力の強化を行うとともに、4月には「やきそば牛丼」（並盛390円）、5月には「うな丼」（並盛780円）を販売するなど、既存の商品に加えて新商品やシーズナル商品を投入し、商品力強化を行ってまいりました。そして、引き続きお客様に安全でおいしい商品を安心して召し上がっていただくために、品質管理の強化とサービス水準の向上に努めてまいりました。

株式会社なか卯が経営する和風牛丼・京風うどんの「なか卯」につきましては、季節限定商品の投入や既存商品のブラッシュアップによる商品力の強化と店舗販促の実施により、業績の向上に努めてまいりました。

以上の結果、牛丼カテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、435億67百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

(レストランカテゴリー)

レストランカテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、5店舗退店、グループ内他業態への転換等を行った結果、1,546店舗となりました。

株式会社ココスジャパンが経営するスタンダードレストランの「ココス」につきましては、効果的な販促活動による売上高の確保や、労働生産性の改善等によるコストコントロールを継続的に行うとともに、店舗のサービス水準を向上させ、業績の向上に努めてまいりました。

株式会社ビッグボーイジャパンが経営するハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」等につきましては、メイン商品のブラッシュアップを図ると共に、サラダバー・スーパバーの充実やフェアメニューの投入を行うなど、業績の向上に努めてまいりました。

株式会社ジョリーパスタ（旧 株式会社サンデーサン）が経営する茹であげスパゲッティと手作りピッツアの「ジョリーパスタ」につきましては、「パスタならジョリーパスタ」をテーマに、パスタ専門店の魅力をよりお客様へアピール出来るよう、パスタソースの継続的な改良や季節メニューの投入等を行い、一層のおいしさを追求してまいりました。

株式会社華屋与兵衛が経営する和食レストランの「華屋与兵衛」につきましては、お客様の満足度の向上を図るため、安全・安心でおいしい商品の開発および店舗従業員の教育強化によるサービス水準の向上、労働生産性の改善等に努めてまいりました。

以上の結果、レストランカテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、364億98百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

（ファストフードカテゴリー）

ファストフードカテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、20店舗の出店等を行った結果、558店舗となりました。

以上の結果、ファストフードカテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、186億60百万円（前年同期比38.2%増）となりました。

（その他カテゴリー）

その他カテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、36億72百万円（前年同期比3.8%減）となりました。当カテゴリーの主な内訳は、ピッツァ製造販売等の株式会社トロナジャパン、醤油製造の株式会社サンビシならびに機能会社としてグループの物流機能を担う株式会社グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する株式会社グローバルテーブルサプライ等であります。

②小売事業

当社の小売事業は、スーパーマーケット事業を展開する株式会社マルヤ、青果販売の株式会社ユナイテッドベジーズの2社から成ります。

小売事業につきましては、現在構造改革の途上であり、当第1四半期連結累計期間の売上高は69億3百万円、営業損失は4億5百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、建設協力金の流動化等により30億円減少いたしました。

負債につきましては、未払法人税の支払等により23億47百万円減少いたしました。

純資産につきましては、配当金支払による利益剰余金の減少等により6億53百万円減少いたしました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

2014年3月期（2013年4月1日～2014年3月31日）の業績予想につきましては、2013年5月14日公表の業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,657	16,494
受取手形及び売掛金	4,748	4,289
商品及び製品	10,012	9,942
仕掛品	510	530
原材料及び貯蔵品	2,492	2,653
その他	13,403	12,240
貸倒引当金	△10	△13
流動資産合計	49,816	46,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	160,366	162,124
減価償却累計額	△82,418	△84,220
建物及び構築物（純額）	77,947	77,903
機械装置及び運搬具	12,583	13,095
減価償却累計額	△6,040	△6,387
機械装置及び運搬具（純額）	6,542	6,708
その他	74,069	76,244
減価償却累計額	△34,087	△35,566
その他（純額）	39,981	40,678
有形固定資産合計	124,471	125,290
無形固定資産		
のれん	12,399	12,170
その他	5,054	5,119
無形固定資産合計	17,453	17,289
投資その他の資産		
投資有価証券	4,276	6,379
差入保証金	32,921	32,992
その他	29,398	27,265
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	66,574	66,615
固定資産合計	208,498	209,195
繰延資産	194	174
資産合計	258,509	255,508

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,281	12,201
短期借入金	1,876	8,645
1年内償還予定の社債	5,990	5,990
1年内返済予定の長期借入金	38,270	36,068
未払法人税等	3,280	932
引当金	1,466	633
その他	33,005	31,742
流動負債合計	97,170	96,214
固定負債		
社債	19,583	18,485
長期借入金	72,522	72,330
引当金	582	578
資産除去債務	1,609	1,628
その他	11,822	11,706
固定負債合計	106,120	104,729
負債合計	203,291	200,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,089	10,089
資本剰余金	10,642	10,642
利益剰余金	25,812	24,776
自己株式	△20	△20
株主資本合計	46,524	45,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△698	△653
繰延ヘッジ損益	△149	△100
為替換算調整勘定	△3,076	△2,795
その他の包括利益累計額合計	△3,924	△3,548
少数株主持分	12,619	12,625
純資産合計	55,218	54,565
負債純資産合計	258,509	255,508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)
売上高	98,856	109,302
売上原価	36,060	42,763
売上総利益	62,796	66,538
販売費及び一般管理費	60,689	64,919
営業利益	2,106	1,619
営業外収益		
受取利息	94	94
受取配当金	84	52
受取賃貸料	85	82
為替差益	—	330
その他	219	178
営業外収益合計	483	739
営業外費用		
支払利息	533	454
賃貸費用	80	70
その他	172	113
営業外費用合計	786	638
経常利益	1,803	1,720
特別利益		
固定資産売却益	0	5
違約金収入	—	6
その他	6	0
特別利益合計	6	12
特別損失		
固定資産除却損	30	94
その他	134	84
特別損失合計	164	179
税金等調整前四半期純利益	1,644	1,553
法人税、住民税及び事業税	998	1,079
法人税等調整額	191	285
法人税等合計	1,189	1,365
少数株主損益調整前四半期純利益	454	188
少数株主利益	98	121
四半期純利益	355	66

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	454	188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	46
繰延ヘッジ損益	△0	49
為替換算調整勘定	△321	280
その他の包括利益合計	△372	377
四半期包括利益	82	565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12	442
少数株主に係る四半期包括利益	95	122

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自2012年4月1日 至2012年6月30日）

当社グループは、フード事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自2013年4月1日 至2013年6月30日）

当社グループは、フード事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。